

# 社会科における学習評価（小学校）

～「指導と評価の一体化」を実現し、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する社会科指導～

## 1 指導と評価の一体化

指導と評価の一体化を実現するために、以下のことに留意して指導と評価を計画・実施していきます。

- ◎ 「指導・学習改善のための評価」と「記録に残す評価」の両面を実施すること。
- ◎ 「内容のまとまり（単元）」ごとに評価規準を設定すること。  
（すべての単位時間で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を評価するわけではありません。）
- ◎ 社会科においては、学習指導要領に示された「内容のまとまり」は複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成するものがほとんどあり、単元ごとに単元構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成していくこと。

## 2 内容のまとまり（単元）における評価のイメージ

時	導入		第一次		第二次		まとめ	
	1	2	3	4	5	6	7	8
知識・技能		●	●				●○	
思考・判断・表現	●				●○	●○		
主体的に学習に取り組む態度	●○			●				●○

●…評価を指導・学習改善に生かす場面 ○…評価を記録に残す場面

評価においては、内容のまとまりごとの評価規準を作成するとともに、児童の学習状況を評価する場面を計画し、記録に残していく場면을精選することが大切です。

### 【「主体的に学習に取り組む態度」の評価について】

「粘り強い取り組み」を行おうとしている側面と、その中で「自らの学習を調整」しようとする側面を評価する。（実際の場面では一体的に見取ることもあります。）

それらは「主体的に問題解決しようとする態度」「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」として見取ることができます。

<評価例> 単元名：事故や事件から人々の安全を守る（全8時間）

時	1	2	3	4	5	6	7	8
主体的に学習に取り組む態度	●○			●				●○

#### 【評価を記録に残す】

前単元を振り返り、本単元の予想や学習の計画を立てている「主体的に問題解決しようとする態度」を記録する。

#### 【評価を指導改善・学習改善に生かす】

単元の後半に入り、新たな課題を見つけられない児童に助言したり、単元の終末に学習を整理できない児童に、これまでのノート（抽出児童）を提示したりして「主体的に問題解決しようとする態度」を育てる。

#### 【記録に残す評価】

学習したことを基に自分に出来ることを考えている「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」を記録する。

### <指導・学習改善の例>

- ◎ 教師による行動観察や児童による自己評価等を参考にしながら行う。
  - ・ 導入時に、抽出した生徒の前時のまとめや振り返りを紹介し、課題解決の見通しをもつことや、自身の学習を振り返ることにつなげる。
  - ・ 資料を修正、精選し、課題解決に結び付けやすいようにする。
  - ・ 仲間との交流の時間を増やしたり、発問の言葉やタイミングを修正したりし、児童の学習意欲が継続したり、粘り強く、調整しながら学習を進められるようにしたりする。